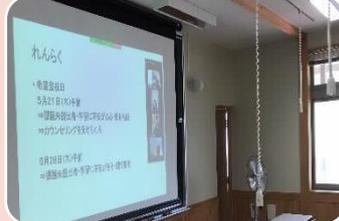


長野県蘇南高等学校「開拓者育成オンライン教育」
新しい学びのかたち・評価のかたち・アフター=コロナへの展望



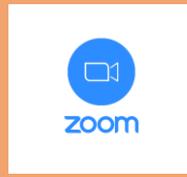
学びの基盤整備

- ・スモールステップの課題を郵送
- ・丁寧な相談体制
- ・個別最適化登校指導
- ・全体最適を最優先する組織的な学び支援



同時双方向の学び

- ・全教員が生徒に語りかけるZoomホームルーム
- ・総合学科の学びなどをZoom授業で展開（5月後半からは教科学習を時間割展開）



動画配信の学び

- ・Classiのアプリを全員がダウンロードして、動画・演習問題を活用
- ・YouTube動画によるガイダンス授業・お助け授業の配信



軌跡の評価Assessment

学びが自己肯定感・自己効力感にどうつながったか
学びが自分の世界を広げたか

学力の評定Evaluation

学びの3観点にもとづく
ペーパーテスト、パフォーマンステスト、課題等による

- ↳ a) 「生徒の気づきと学びの最大化プロジェクト」の全国調査（赤堀侃司・東京工大名誉教授監修）に参加して、オンライン教育による生徒の成長を検証
- b) 生徒は、各科目の「まとめの課題」に取り組み、学びによって自己肯定感・自己効力感が育まれたことを振り返る。=学びの成果・定着の確認

本校が見つけた、アフター=コロナの「新しい学び」に踏み出す成果

- (1) ハイブリッドの学び（オフライン&オンライン）を進められる生徒と教員
 - オンラインでの個別最適化・新たなコミュニケーション（広くつながる学びやつながる自信）・ケアする対話
- (2) いかなる課題にもチャレンジできる生徒と教員の“マインド”と“動的組織”
- (3) ウェルビーイング（よりよく生きること）を意識した学びの振り返りと評価の可能性の開拓